

ウォーキングマップ作成およびイベント運営法の検証に関する活動実績報告書

◆目的

①自家用車に依存し過ぎたライフスタイルから、歩くことや自転車、公共交通の利用などを積極的に取り入れたライフスタイルへの転換を促し、人的交流の活発化を通じた地域の魅力向上を図る。②ウォーキングマップの作成方法やイベントの運営方法の実践検証および本学学生の現場体験の機会を増やす。

◆日時・場所

①2020年11月7日(土) 吉野ヶ里町 (集合：吉野ヶ里町中央公民館)

②2020年11月8日(日) 伊万里市 (集合：伊万里まちなか一番館)

③2020年11月21日(土) 小城市 (集合：ゆめぷらっと小城)

受付開始 9：00～ イベント開始 9：30～

◆講師：国立大学法人 鹿屋体育大学教授 中垣内真樹
准教授 沼尾成晴

◆イベント補助：鹿屋体育大学学生

◆参加人数

①吉野ヶ里町：14名

②伊万里市：27名

③小城市：35名

◆イベント内容

家族(グループ)でウォーキングをしながら、「コース上の魅力」「道路交通に関すること」「トイレの有無」「防犯に関すること」「休憩ができる場所」などの情報を探す。発見した情報は参加者全員で1枚のマップに落とし込み、オリジナルのウォーキングマップを作成する。

◆前日までの準備

1. コースの選択
2. コース下見(距離の測定、道路交通状況などの確認)
3. コースの決定
4. スタッフ打ち合わせ(リモート・対面により数回)

◆当日の流れ（3地域とも同様）

		活動内容
8：30～	会場設営	・ソーシャルディスタンスを確保した会場の設営，準備
9：00～	受付（写真1）	・検温 ・手指消毒用アルコールの設置 ・使用する物品の配布
9：30～	ワークショップ導入 コース説明 （写真2）	・イベントの目的，内容を周知 ・コース案内 ・注意事項説明
10：00～	ウォークラリー （写真3）	・2チームに分かれてウォークラリー ・スタッフは各チームの先頭，中央，最後尾について，コース誘導や交通安全の注意喚起等を実施
11：30～	ウォーキングマップ作成 （写真4）	・発見した情報を付箋に記入 ・1枚のマップに落とし込む
12：00	終了	



写真1 受付



写真2 ワークショップ導入



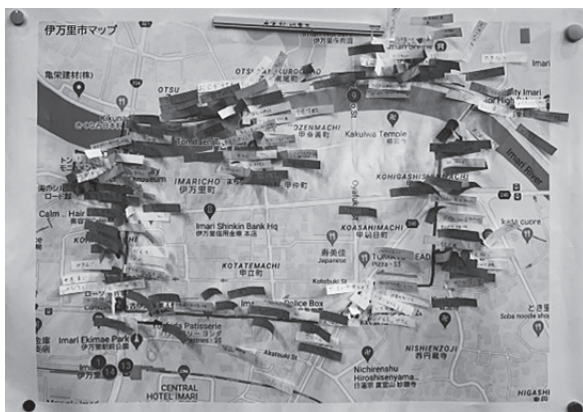
写真3 ウォークラリー





写真4 ウォーキングマップ作成

◆完成したウォーキングマップ（上：吉野ヶ里町，左下：伊万里市，右下：小城市）



◆実施した感染症対策

- ・検温
- ・アルコール消毒
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・マスク着用の徹底（参加者）
- ・マスクおよびフェイスシールドの着用（スタッフ）



◆参加した学生の感想

田上三奈（4年生）

今回初めてこのようなイベントに参加させていただきました。初めての参加だったので最初はスタッフとしての役割が果たせるのか不安でいっぱいでした。しかし、スタッフのみなさんに様々なことを教えて頂き、とても充実した3日間を過ごすことができました。初日は実際に現地に到着してコースを確認したり、スタッフの方々と打ち合わせをしたり、イベントを行う上で前準備を行うことの大切さを感じました。そして、イベント中は周りを客観的に見て行動することの大切さを学びました。参加者のサポートだけでなく、安全確保や体調などにも目を配りイベントを進行していくことがスタッフとしての役割だと感じました。初めてのイベントでしたが、とても楽しく学ぶことも多くありました。今回の経験で学んだことをこれからの大学生活だけでなく、大学卒業後、社会に出た時にも活かしていきたいと思います。

◆まとめ

イベントを通して、住み慣れた街をゆっくり歩くことで、車に乗ってでは気付くことがなかった様々な街の魅力を発見することができた。親子で参加していただいたことで、子供ならではの目線で、面白い発見が多くあった。自動車移動に依存しつつある現在だが、歩くことの楽しさ・面白さを感じてもらうことができた。また、ウォーキングマップ作成やイベント運営の実践検証ができた。今後の運動・スポーツの普及イベント等に活かせる検証であった。